

P6のニーズ調査について伺いたく存じます。

その他としてご紹介がありました、丁寧なおもてなしのニーズは、「ほしい」と「ややほしい」はそれぞれ何%でしたか。おもてなしがなければ行きたくないという方はどのくらいいらっしゃるのでしょうか。

→強くそう思うが31.5%、そう思う38%、ややそう思う18.0%の合計で87.5%という結果でした。おもてなしに関しましては、それがないと「行きたくない」という方は調べていないものの、不安の中でも、87%を超える方が、一方で、「おもてなし」も期待しているという結果でした。そのような対応ができれば、非常に喜ばれるかと思います。

エタノールやその他薬剤の廃棄目安（購入日より何日等～）はどれくらいでしょうか？

→エタノールは、密閉していれば揮発しません。ただし、エタノール剤でも、様々な界面活性剤やその他アルコール類が混合されているため、ボトルに記載の使用期限等の記載があればそれに従って使用なさる必要があると思います。

事例で登場されている女将さんの消毒ですが、素手で実施されていますが、清掃者の感染予防という意味で手袋をしたほうが良いということはないですか？もし手袋をしたほうが良い場合の材質のおすすめはありますか？

→使用いたしました薬剤がエタノール濃度57.22%でしたので、脱脂作用の低い水準です（50%以上で消毒効果があります）。もし70%以上のエタノール濃度であれば、樹脂製のビニール手袋をご推奨いたします（スタッフ安全の為）。ただし、手袋をしますと、蒸れて手袋の中で細菌が生じます。また消毒時の手の感触が薄れます。トイレ消毒ではビニール（樹脂製）の手袋をご着用下さい。外す場合は、最初に手袋のまま手を消毒し、その後手首からはがして、次亜塩素酸ソーダに10分以上浸した後に洗濯等をお願いいたします。

客間から帳場を通過して、隣の食堂へ移動。食堂はフローリング床なので、食堂専用のスリッパ有ります今回はそれは、撤去ですか？今回はそれは、撤去ですか？

スリッパの裏は、塩ビですね。食堂のスリッパも塩ビです。

お客様からスリッパ持参？要請もしても良いか？

→玄関で脱靴したのち、客室までスリッパを使用している場合は、そのままのスリッパで食堂へ、また脱靴した後、素足であれば、食堂では裏面消毒済みのスリッパをご着用としていただき、1日の終わりに、裏面の消毒をエタノールであれば裏面と履く内側の噴霧が望まし

いです。あるいは、2日程もしウイルスがいれば活性状態のはずですので、3日分の予備を順番で使用していくのがよいように思います。

診断書も持参要請しても良いですか？

→現在、医療崩壊が経済活動停止に直結することを懸念し、PCR検査が容易ではない状態ですので、難しいと思われます。旅館業法上は陽性反応でない限り、断れないことになっていますが、スタッフ様、他の顧客をお守りするために、非接触型でも検温にご協力いただき、37.5℃以上であれば、医療機関と事前に連携し、その医療機関をご紹介するか、ロケーション上、また人道上難しい場合（北海道の雪の中お断りできない・・・）等は、事前にそのようなケースで使用する、他の顧客と接点をあまり持たない客室を設定する、レストランは使用できないと要請する等、そのお客様にも十分に寄り添った対策案をご検討いただけますと幸いにございます。

紫外線消毒が有効と聞きますが、風呂場では、スリッパの消毒にも活用されている。どんなものでしょう？

→紫外線は、消毒効果を有する曝露量が非常に、危険水準ですので、厨房のまな板や包丁用に完全に機械に入れて、密閉し紫外線が漏れない状況で初めて放射されるレベルですので、有効な紫外線を使用するには完全に「無人」環境である必要があります。スリッパ消毒についても、完全に無人環境で、曝露量も十分なレベルであれば良い方法だと思いますが、失明リスクや皮膚がんリスクがありますので、十分にご注意しつつご活用いただければと存じます。